

## 令和2年度 生物多様性推進活動優秀賞表彰について

○表彰の対象は、以下の取組を行う功績顕著な学校等としています。

自然の恵み	地元食材や旬の食材、地元の食文化について理解を深める取組
ふれあい	自然体験を通じ、自然と関わる楽しさや厳しさ、その地域の特色を学習する取組
自然表現	絵画や作文などの創作活動により、自然のすばらしさや自然との関わり方を学習する取組
自然保護	身近な自然を対象にして、自然や生きものの調査、保護を行う取組
その他	上記のほか、特に生物多様性の保全に資すると認められる取組

### ○令和2年度表彰校・取組実績一覧

学校名	取組実績	部門
蔵王町立 永野小学校	<p>地域の特産品・校木でもある梨作りに取り組んだほか、学校田を活用して自然観察や稲作体験活動等を行った。</p> <p>自然に触れ、豊かな体験活動に取り組む中で、地域のひと・もの・ことの良さに気づき地域に対する愛着・誇りを持つ気持ちを醸成するとともに、生物多様性保全に関する理解を深めた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい</li> <li>・自然保護</li> </ul>
加美町立 宮崎小学校	<p>ピオトープを活用し、水生生物の観察会や、メダカ・テツギョ・沢蟹の生態調査等を実施し、生きものの成育環境や保全活動について学習したほか、同じピオトープ内で稲作体験を行った。</p> <p>メダカ・鉄魚・沢蟹等の生育環境の理解と整備に取り組むことや、稲作体験と自然保全を関連づけて考えることを通じて、生物多様性への理解が深められた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい</li> </ul>
石巻市立 中津山第二 小学校	<p>地元の特産品である「スリムねぎ」を教材とし、生産農家等から支援を受けながら農作業体験や「ねぎ焼き」の試食を行った。</p> <p>自然の恵みである地元特産品について体験をとおして学習することで、その文化を受け継ごうとする意欲や生物の多様性に関する関心を高めることができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の恵み</li> </ul>
気仙沼市立 中井小学校	<p>1～6学年を通じて、生きもの観察やごみ拾い、草花のマップづくりなど、様々な体験活動を行っている。鮭については、稚魚の放流から漁獲、調理までの一連を体験し、自然の恵みや生命のつながり等を体感している。</p> <p>地元の自然を活用した学習を展開することで、「美しい自然を大切にしたい」という思いを醸成するとともに生物の多様性への理解を深めた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい</li> <li>・自然保護</li> </ul>
宮城県 白石高等学校	<p>生徒自身の興味関心に基づいた研究課題を設定し、地元の食文化や環境保全に関する諸課題について、フィールドワークや調査・研究、地元生産者や行政との連携を行いながら課題解決に向けた活動を行った。</p> <p>SDGsと関連づけて環境問題と生物多様性の維持に関する研究活動を多く行っているほか、地元食材を使った商品開発やイベント企画、農地でのフィールドワーク等を行うことで、生物多様性の保全について理解を深めることができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の恵み</li> <li>・ふれあい</li> <li>・自然表現</li> <li>・自然保護</li> </ul>